

Kandai Style

2023.12 Vol.512
関西大学通信



2023年にチャレンジしたこと



My challenge

フランス語の勉強と空手

大学院法学研究科 博士課程後期課程 1年次生

みち ごと だい ち
道越 大地 さん



私は2023年に2つのことにチャレンジしました。1つめは**研究活動のためにフランス語を勉強**したことです。フランスの医事法について研究していますが、語学を始めたのは大学院に進学してからです。初めはフランス語の論文1本を読むのに数日かかっていましたが、今では数時間あれば読めるようになりました。来年は実際にフランスに行って研究活動を行う予定ですので、今年はその準備期間として、これまで以上に語学に力を入れた1年でした。

2つめは**空手**です。幼い頃から地域の空手道場に通っていて、これまでも大会には出場していましたが、近年はコロナ禍と大学院進学の時期が重なったことで実戦からは遠のいていました。そんな中、姉が空手の大会で日本一になったことに刺激を受け、自分も久しぶりに挑戦しようと決意しました。今年には修士論文の審査や後期課程への入試もあったので、練習時間を確保するのにかなり苦労しましたが、時間の使い方にメリハリを付けながらなんとか論文審査と入試をクリアし、そこからは空手の猛練習です。その結果、6月に開催された**オープントーナメント全日本ウェイト制空手道選手権大会で優勝し、日本一**になることができて本当にうれしかったです。

My challenge

日商簿記1級の取得

大学院会計研究科 1年次生

なか むら か な こ
中村 伽菜子 さん



私は公認会計士と日商簿記1級の資格取得を目指し、2年半前から勉強を始めました。しかし、今年大学院進学の時季などが重なったため、日商簿記1級に絞って勉強を進めました。

合格するためには勉強を継続する必要がありますので、毎日欠かさず時間をつくることを心掛けました。平日は平均3時間、多い日で8時間ほど勉強をしていましたが、大学の勉強や趣味など他にもやりたいことがたくさんある中で、合間を縫って勉強時間を確保することに苦労しました。

日商簿記の勉強は停滞期が長く、頭を悩ませる時間が多くありましたが、次第に問題の意図を理解して、過去問から得た知識を応用して問題が解けるようになり、自分の成長を感じることができました。

最初に不合格になった時はつらく、再チャレンジすることが怖かったのですが、それでも勉強を続けていると長い目で見られるようになり、肩の力を抜いて、やるべきことに集中しようという心持ちに変わりました。その結果、ついに**日商簿記1級に合格**することができ、とてもうれしかったです。来年はもう一つの目標である公認会計士の資格取得を目指して頑張ります。

2023年に

チャレンジしたこと

コロナ禍が一段落し、行動の自由度が高まった2023年。やりたかったことを始める、行きたかった場所へ行くなど、止まっていた時間が動き出した方も多かったのではないのでしょうか。今年を締めくくる12月号では、「**2023年にチャレンジしたこと**」を特集しました。

My challenge

大阪マラソン2023での完走

社会安全学部 2年次生

くじ め み さと
久次米 美聖 さん



私は今年、**大阪マラソン2023にチャレンジし、42.195kmを完走**しました。小学校から陸上競技を始めて以来、走ることが大好きで、ずっとマラソンに興味があったので、大学で入ったサークル(関大ランナース)の仲間誘われたことをきっかけに出場を決めました。

当日はサークルの仲間と一緒にスタートしましたが、途中からは自分のペースで走り続けました。やるからには絶対に“完走”すると決めていたので、一度も歩きませんでした。最初は楽しむことをメインに走ろうと思っていましたが、いざ走り出すと周りのランナーへのライバル心が生まれ、少しでも速いタイムで走りたいという気持ちになっていました。

28kmを過ぎたあたりから疲れてきましたが、催し物でさまざまなパフォーマンスがあったり、沿道からも「関大ファイト!」という声援を受けてとても力になりました。結果、**目標にしていた4時間を切る3時間55分で完走**することができました。

今ではすっかりマラソンにハマリ、また別のマラソン大会に応募しています。私が考えるマラソンの魅力は、走った後の達成感や、走りながら街散策ができるような楽しさです。また、長距離を走り終えてのごはんのおいしさは格別です。今後は私の経験や走る楽しさをたくさんの人たちに伝え、「自分も走ってみたい」と思ってもらえる仲間を増やしていきたいです。

My challenge

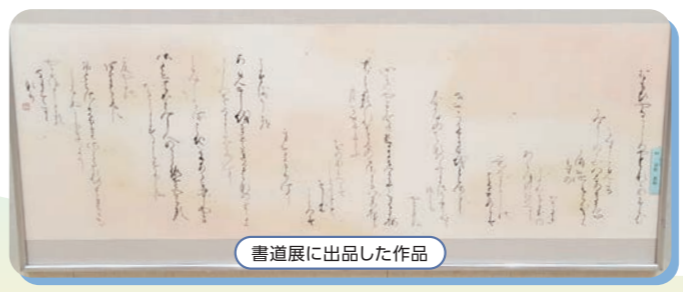
全日本高校・大学生書道展で優秀賞

政策創造学部 4年次生

いわ さ ま き
岩佐 真妃 さん



全日本高校・大学生書道展に出品したことです。実家が書道教室で、幼い頃から友人と一緒に習字を楽しみながら育ちました。大学生になって地元を離れてからは書く機会は減りましたが、時折コンクールに出品しています。今回の作品は、縦60×横180cmの和紙に仮名文字で短歌を書き連ねるというものでした。大判の和紙は高価なので失敗しないように精神統一して書きますが、最後の一首はとても緊張します。書きながら常に“流れ”を意識することも重要で、控えめに書いたり、墨の濃淡を調節して抑揚を付けたり、短歌の情景も想像しながら見せ場を作りました。少しでも良い作品にしたいという一心で書き上げ、**昨年は展賞、今年は優秀賞を受賞**することができました。



書道展に出品した作品

重い腰を上げて書き始める時もありますが、筆を進めるうちにやっぱり書道は楽しいと実感します。普段の生活ではなかなか自分と向き合う時間を取れませんが、書道は紙と筆と自分自身と向き合える時間で、墨の香りでリラックス効果もあり心がスッキリします。幼い頃から書道を続けられる環境を与えてくれ、楽しく学んでいけるように導いてくれた母には本当に感謝しています。今後は古典や漢字の勉強にも力を入れて、この特技を大切にしていきたいです。



ChatGPTなどの生成AIを使っていますか?



近年、生成AIの登場により大学生の学習実態に変化が現れています。

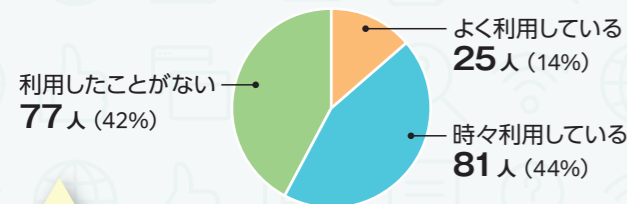
本学では、生成AIツールの使用に関して、「さまざまな課題を理解しながら、自らの『考動力』と『革新力』を発揮して、学習活動を進めることを期待しています」と呼び掛けていますが、ChatGPTをはじめとする生成AIを学生はどの程度利用しているのでしょうか。

今月号では、現状を調査した上で、今後どのように利用していくのが望ましいのかを紹介しています。

アンケート期間：2023年8月1日～8月31日 対象者：学生 回答者数：183人

アンケート結果 1

ChatGPTなどの生成AIを利用したことはありますか?



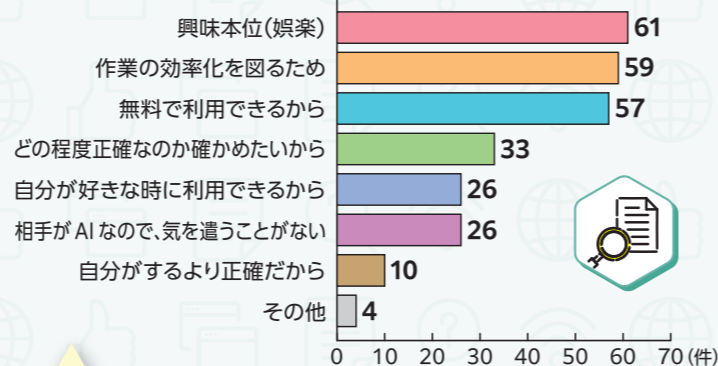
コメント

アンケート結果から生成AIをよく利用している学生は14%、時々利用している学生は44%で、この2つを合計すると関大生では約60%の学生が生成AIを利用していることが分かりました。今後、さらに生成AIが身近になるにつれ、ますます利用者は増加していくのではないのでしょうか。

アンケート結果 2

利用する理由を教えてください。

(複数回答可)



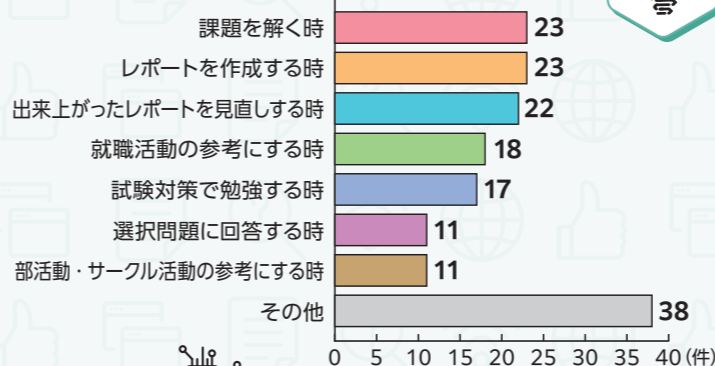
コメント

生成AIを利用する理由のベスト3は「興味本位(娯楽)」「作業の効率化を図るため」「無料で利用できるから」で、他の回答項目と比較しても、この3つが突出しています。また、利用した場面では、「課題を解く時」「レポートを作成する時」「出来上がったレポートの見直しをする時」「就職活動の参考にする時」など、主に学習に関することに利用しているという様子が見られました。

2023年4月17日に本学が示した「教育・学習におけるChatGPT等の生成系AIツールへの対応について」を参考にして、主体的な学習活動を心掛けてください。

どのような時に利用しましたか?

(複数回答可)

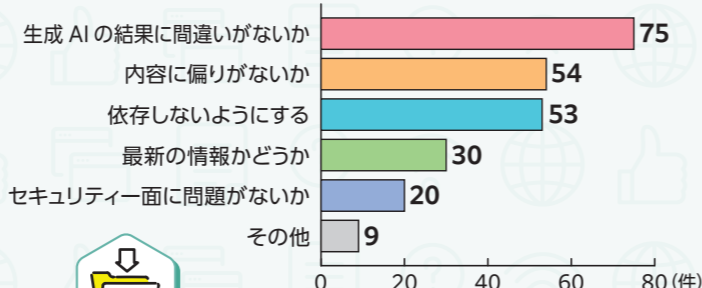


「定期試験・レポート作成等における生成系AIツールの使用について」(概略)

定期試験・レポート作成等では、学生自身が授業において、どのような力を身に付け、どの程度理解が深まったのかを確認するものであり、その成果物は学生自身の学習・研究、学びの結果として自身の力で作成したものを評価しています。安易に生成系AIツールの生成物のみをもって自己の学習成果としないようにしてください。

アンケート結果 3

利用時にどのようなことに注意を払いましたか?



コメント

利用時の注意点を尋ねると、「生成AIの結果に間違いがないか」が75件、次いで、「内容に偏りがないか」「依存しないようにする」がそれぞれ約50件で、この3つに回答が集中しました。

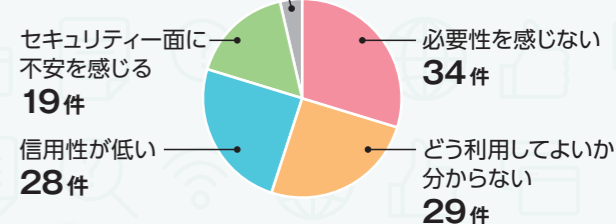
2023年7月13日に文部科学省が発表した「生成AIの教学面の取扱いについて」で、生成AIを活用することが有効と想定される場面として、論点の洗い出し、情報収集、文章校正などとしている意味からも、アンケート結果は妥当なものと言えるのではないのでしょうか。

文部科学省ウェブサイト「大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて」【概要】(https://www.mext.go.jp/kaigisiryo/content/000245316.pdf)より引用

アンケート結果 4

利用しない理由を教えてください。

その他 4件



コメント

利用しない理由は、「必要性を感じない」「どう利用してよいか分からない」「信用性が低い」という回答が多かった半面、「セキュリティ面に不安を感じる」と回答した学生は少ない結果となりました。現在、生成AIを利用している学生はもちろんのこと、今後、新たに生成AIを利用しようと思っている学生も十分注意した上で活用してほしいと思います。

「その他」の回答の中には、「自分の思考能力は自らの力で鍛えたいので生成AIは利用しない」「生成AIの書いた小説が増えていることに不満を感じている」などの意見がありました。

文部科学省「大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて」のポイント

生成AIを利活用することが有効と想定される場面

ブレインストーミング、論点の洗い出し、情報収集、文章校正、翻訳やプログラミングの補助等の学生による主体的な学びの補助・支援など

生成AIの留意すべき点

- ① 生成された内容に虚偽が含まれていることやバイアスがかかっている可能性があることから内容の確認・裏付けを行う必要があること
- ② 生成AIへの入力を通じ、機密情報や個人情報が意図せず流出する可能性があるため安易に入力することは避けること
- ③ 他人の著作物の利用に際しては、原則として著作権者の許諾が必要となること

次回のテーマは…「物流の2024年問題」

物流・運送業界では、「2024年問題」が浮上しています。皆さんはインターネットショッピング(通信販売)などで宅配サービスをよく利用されていると思いますが、実際はどの程度の学生が何のために利用しているのでしょうか。

1月号では、学生の実態を調査し、私たちの暮らしに大きく影響する問題について、一緒に考えてみましょう。



PROFESSOR'S COMMENTS

教育推進部 岩崎千晶教授

10月にフロリダで開催された国際会議AECT2023 (Association for Educational Communications and Technology)に参加し、AECT会長と生成AIの利用につ

て意見交換をしました。アメリカでは昨年11月以降、学生がTikTokやX(旧ツイッター)から生成AIの利用方法を拡散し、現在は多くの学生が使っている状況だと聞きました。一方、本アンケート結果を見ると、生成AIを利用している学習者はまだまだ少ないという印象を受けます。「どのように生成AIを活用すれば良いのか」に関する知識や技術がまだ共有されていないのではないのでしょうか。

また生成AIが学生の代わりにレポートを書くことはご法度です。しかし、「レポートを見直す」ためにも学生は生成AIを利用しています。生成AIはレポートの見直しだけではなく、テーマ設定や情報収集をする際にも活用でき、探究のツールになり得ます。学生同士で自分の学びを深めるようなプロンプトを考えて、共有することで学んでいくというポジティブな側面を見て、生成AIを自らの学びを深める探究のツールとして使ってみませんか?

寺院業務 / 僧侶



音羽山 清水寺 おお にし えい げん 大西 英玄さん

平安高等学校(現 龍谷大学付属平安高等学校)出身
2001年社会学部卒業

1200年の歴史を背負う覚悟は 多様な経験を重ねたからこそ

世界遺産「古都京都の文化財」の一翼を担い、1200年以上の歴史を持つ清水寺。大西英玄さんは塔頭寺院^(※1)である成就院の住職を務めています。

清水寺で生まれ、祖父は清水寺中興の祖として慕われた大西良慶和上。寺を継ぐことにためらいがあり、見聞を広めるため大学卒業後にアメリカに2年間留学した大西さんは、その後も進路に悩んでいましたが、尊敬する人からの「清水寺に生まれ終生勤めることには深い意義がある」という言葉に背中を押され、入寺しました。

清水寺は僧侶8人、そのうち寺務に関わるのは大西さん含め4人。規模に対して僧侶が少ないことから、仕事は多岐にわたります。大西さんは月行事、年中行事や法要に加え、渉外的な役割も担当しています。

日本を代表する古刹の一員として、周囲からの期待と責任の重さに悩むこともありました。しかし苦勞した仕事が後に「ああ、このためだったのか」と思うような導きとなったことが幾度もあったそうです。例えば、かつて清水寺を訪れたオバマ元大統領夫人らの案内を任命されたことがありました。大変名誉なことであったと同時にその重責は相当なものでしたが、後にこの仕事で得た信頼のおかげで知人のグリーンカード(米国永住権)取得の推薦人になることができました。「これらの経験は、何一つおろそかにできない戒めでもあります」と語ります。

コロナ禍では参拝者が激減しましたが、清水寺は門を開き続けました。「清水寺は人々が心を寄せて祈りを捧げるお寺です。“有事であるコロナで清水が閉めてどうすんねん”というのが当寺の総意でした」と、改めて清水寺の存在意義を確認した出来事となったそうです。

関大時代は社会学部で産業心理学を専攻。「大学時代は見聞を広めるため、多様な経験を積極的に求めました」と当時を振り返ります。

最後に「意識して五感を動かせ、「自分が感じたこと」に敏感でいてほしいです。私は学生時代の多様な経験から、世界に誇る清水寺を継ぐ覚悟と力をもらい、現在の道にたどり着きました。実践的に行動して感じることで、目の前の人との対話を大切に、学生時代を過ごしてください」とエールを送りました。

ある1日のスケジュール

- 7:00 境内朝参り
- 8:00 朝礼
- 8:30 山内連絡会議
- 10:00 メール確認 ならびに
事務作業等
- 13:00 信者への法話
- 15:00 参拝者境内案内
- 18:00 有縁寺院との
情報交換会
- 20:00 勤務終了



必須アイテムは、筆と落款です。手紙や依頼いただいた書などは毛筆でしたためています。

※1 大寺の敷地内にある寺内寺院のこと

Buddhist monk



「特別研究2」

やまもと ゆうへい
山本 雄平 助教

AIやIoTなどの情報技術で「できたらいいな」をかなえる力と社会人基礎力を身に付ける

山本雄平助教の社会システム計画研究室では、AIやデータサイエンスなどの情報技術を活用し、社会課題の解決に役立つ研究開発を行っています。研究に取り組む中で専門的な知識や技術を養い、さらにプレゼンテーションやコミュニケーション、スケジュール管理などの社会人基礎力を身に付けることが目標です。

研究にはプログラムに関する専門知識とスキルが必要です。プログラミング言語の扱いやシステムの設計方法、画像や統計の解析手法など、その分野は多岐にわたるため、成果発表は週に1度ですが、ゼミ生は週5日研究室に通っています。指導する時は、ヒントを出しても答えを言わないように気を付けながら、「手を動かして自分の頭を使い、理詰めで試行錯誤する」ことで、自分で答えを見つける力が養われると話します。

また、「研究テーマを決めるには、日常生活の中から課題を発見する視点も必要です。人口の減少が進めば、社会の維持管理のために機械を頼る場面が増えてきます。未来のために今自分が頑張ると意識で、野心を持って取り組んでほしいです」と山本助教。今年度のゼミ生は「ドライブレコーダーの画像から危険因子を抽出」「画像からリアルタイムで群衆の移動を把握」「学校環境の仮想現実化」といったテーマで研究を行っており、「1ミリでも社会を改善できる人材として力を発揮してもらいたいです」と期待を寄せます。卒業研究発表会がひとまずのゴールですが、研究の精度を高めて学会への発表も予定しているそうです。

ゼミ生には「これがしたい!」という自分の内からの動機と、知識や技術を身に付ける意欲を持って、これからの人生において生活も仕事も全力で楽しんでほしい、と語ります。最後に「近年はマスターやドクター取得を推進する企業も多く、専門的な知識を持った人材が求められています。日本の未来のため、大学院でさらに学びを深める選択肢も知ってほしいと思っています」と締めくくりました。



やまむらみさと
山村実里さん
(4年次生)



1~3年次で受講した山本先生の授業が面白かったこと、ITに関連した研究ができることからこのゼミを選択しました。現在は画像認識を用いた群衆移動の可視化について研究しています。ゼミで研究に取り組む中で、プログラミングの知識や、仮説を立てて分析し、目的に到達する解決方法を学びました。将来はマネジメントができるシステムエンジニアを目指したいと思っています。

まつもとたかのしん
松本昂之臣さん
(4年次生)



画像処理や3Dに触れられる点に魅力を感じてこの研究室を選びました。現在は卒業論文に向けて、学校環境の仮想現実化の研究を行っています。ゼミでは山本先生が基礎的なことから丁寧に教えてくださいますし、週に1度研究成果を発表することで、パワーポイントの操作に習熟することができました。将来は、システムエンジニアとしてインフラ系の会社に就職する予定です。

のむらけいた
野村啓太さん
(4年次生)

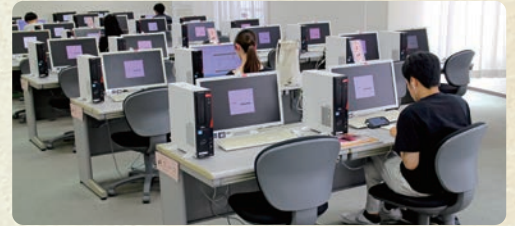


山本先生のプレゼミでAIや機械学習に興味を持ちました。現在は先行研究を引き継ぎ、ドライブレコーダーの映像を用いた危険因子の抽出について研究しています。本格的なプログラミングは初めてでしたが、山本先生が広く深い知識でしっかりと指導してくださっています。研究室に所属する9人のゼミ仲間とも良い関係を築いています。

ITサービスを授業、就職活動で活用しよう!

関大生の皆さんは、大学入学後にITセンターから利用者IDとパスワードを付与され、大学が提供するITサービスを授業や就職活動、課外活動などに活用されていると思います。

ITセンターでは、皆さんの活動に役立つサービスを年々充実させています。今月号では、同センターの便利な使い方をまとめてみました。



これは便利! 大学で使えるサービス

データの保存・共有はDropboxを使おう!

どこからでもアクセスができて、ファイルの出し入れが自由に行えます。授業の資料やグループワークの課題などを入れておけば、友人とのファイル共有や共同編集も可能です。

< 利用者の声 >

ゼミの課題提出でDropboxをよく使っています。パソコンとスマートフォンの両方にインストールしておくので、皆さんに知っておいてほしいと思います。たとえば、ゼミ共有フォルダに資料をアップロードすれば、ゼミ内でリアルタイムにその資料が反映されますし、個人用フォルダに就職活動で使う重要な資料やエントリーシートを入れておけば、いつでも資料を確認できます。

またDropbox Paperは、1つの資料を数名で同時に遠隔で編集できますので、私は通学時間を利用して作業しています。



Dropbox

印刷するなら、関大Myプリント

ノートパソコンやスマートフォンから印刷できるサービスが関大Myプリントです。

学内のオンデマンドプリンターから印刷ができ、秋学期から新しいシステムの運用も始まりましたので、さらに便利になりました。

なお、高槻キャンパスでは総合情報学部の特性上、関大Myプリントを導入しておりませんが、代わりにオンデマンドプリンターが整備されていますので、関大Myプリント同様に印刷をすることができます。MacやWindowsパソコンを用いて幅広くご利用ください。



< 関大Myプリントで印刷可能な場所 >

- 千里山キャンパス：ITセンター1階・4階、総合図書館レファレンスカウンター前およびラーニングコモンズエリア、第1学舎4号館4階事務室、第2学舎1号館4階MML室
- 高槻ミュージックキャンパス：西館2階ミュージックオフィス前
- 堺キャンパス：A棟3階PCルーム前およびPCルーム受付



関大Myプリント

新しくできたWebトークエリア



オンライン授業の受講やWebミーティングに利用できるサービスです(キャンパスごとに名称が異なります)。



パソコン、スマートフォンで困った時はパソコン相談コーナーへ

パソコンのトラブル、KU Wi-Fi / 無線LANの設定方法、大学がライセンス契約しているソフトウェア(Microsoft 365、ウイルス対策ソフトなど)のインストール方法、関大Myプリント、関大Webメール / OutlookやDropbox Kansai Universityなどで困りの時は、ぜひお立ち寄りください。

お気軽に
ご相談ください

- 千里山キャンパス：ITセンター1階
- 高槻キャンパス：C棟3階学生サービスステーション内
- 高槻ミュージックキャンパス：西館4階ITステーション内
- 堺キャンパス：A棟3階PCルーム受付



パソコン相談コーナー

ますます充実するサービス

キーワード検索で簡単に知りたいことが調べられます。

ITセンターウェブサイトにも新しく「キーワード検索」機能をリリースしました。単語を入力するだけであなたの「知りたいこと」を予測し、最適な回答を表示します。

既に提供しているチャットボットと併せて活用してください。



ITセンター
キーワード検索



経済学部 3年次生

中島 康裕 さん

ボール1つから感動を生むサッカーの魅力
ポジティブな考えでプロを目指したい

体育会サッカー部は、TOP、FC2008、REDGROW、SOLEOの4チームと女子チームの5つのカテゴリーに分かれています。中島康裕さんはFC2008に所属しており、学生と社会人チームなどで構成される地域リーグでプレーしながら、TOPチームを目指しています。

中島さんは4歳の時、テレビで見た南アフリカW杯での遠藤保仁選手に憧れてサッカーを始めました。小・中学校では地元のクラブチームに入り、その後関大一高サッカー部を経て、体育会サッカー部に入部しました。相手と競り合う強さと判断力を求められるセンターバックを守っています。

1年次生の時、練習中に膝の前十字靭帯じんたいを断裂。全治10カ月の大けがを負い、数週間ベッドから動くこともできませんでしたが、リハビリや体づくりのほか、動画などで試合を観戦し、オフザボール時の判断力を鍛えました。「復帰したらライバルを追い越してやるという気持ちを持ち続け、さまざまな角度からトレーニングに取り組みました」と当時を振り返ります。復帰後は考え方や人との向き合い方も前向きに考えるようになり、「けがをきっかけに、毎日サッカーができていたありがたみを感じたことで、視野も人との関わりも広がりました」と中島さん。

今は3年次生をまとめる学年幹部の役割を務め、「さらにプレーでもチームを盛り上げるような存在になりたい」と話します。サッカー部が目標とする「全員サッカーで日本一」の実現に向けて、強いチームづくりをしたいと言います。

「6月に行われた天皇杯の浦和レッズ戦で、プレーヤーと、僕たちを含む観客席が一体となる経験をし、ボール1つから感動を生み出すサッカーの魅力を再認識しました」と語り、改めて将来はJリーグを目指したいと考えるようになったそうです。「Jリーグへ入団した先輩と比べると、足りないところがまだまだあります。どれだけ練習しても終わりのない厳しい世界ですが、それがサッカーの楽しさでもあります」と中島さん。最後に「何ごともポジティブに捉えた方が、人生は楽しくなると思います」と明るい笑顔で話しました。



ディフェンスの要、センターバックを務める中島さん

今回は、中島さん
からのご紹介で野中
結衣さん(文学部3
年次生)が登場。お楽
しみに！



Kosuke Nakajima

学部・研究科・併設校トピックス

法学部 / 法学研究科

教育におけるIT弱者の試練

私は典型的なIT弱者で機械音痴です。授業の時もしょっちゅう困ります。例えば映像資料を使おうと教室の機材を触っても、スムーズに出来た試しがなく、学生の協力を仰ぐか授業支援センターに来てもらいます。遠隔授業実施期間はZoomでの授業動画作成に泣かされました。教学主任になってからは度々開催されるガイダンスの資料をパワーポイントで作成するのに苦労しています。でもその度にいろんな方からのご助言によって何とか切り抜けてきました。私も日々勉強ですが、学生の皆さんもご教示のほどどうかよろしく願ひ致します。(教学主任 河村厚教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

競争より協力

日本語を母語としない留学生が、日本語で修士論文、博士論文を書くのは至難の業です。日本語の会話に支障のない人でも、論文となると話は別です。論文には論文にふさわしい文体があり、それを意識して執筆しなくてはならないからです。日本語で書くチャレンジ精神には畏敬の念を抱きますが、孤軍奮闘する姿を見ると心配になることもあります。母語ではない言葉で論文を書き上げるためには、日本語の間違いを指摘してくれる協力者が絶対に必要です。競争より協力の方が有益なのです。(石崎博志教授)

経済学部 / 経済学研究科

卒業論文の提出時期となりました

12月は経済学部の卒業論文提出時期です。現4年次生は、卒論提出必修の最終年度生となります。それぞれ所属するゼミの先生の指導下で、専門領域の研究を進めることができたと思います。課題の設定や資料収集、先行研究のフォロー、論理構成、分析と考察、そして参考資料の引用の仕方など、これまでのレポート作成とは異なる学習を積み重ねることができたでしょう。この経験は社会でも生きてきます。これからも、論理的に物事を捉え、「考動」してください。(学部長 佐々木保幸教授)

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

英語でビジネスを学ぶBestA

BestA(ベスタ:Business English Study Abroadの略)は、ビジネス英語の修得に特化した商学部独自のプログラムです。イギリスのヨーク大学に4週間または1学期間滞在する2つのコースから成ります。ビジネスに関する英語講義、英語でのプレゼンテーションやディベートなど、現地滞在・体験型プログラムを通じて、実践的な英語力の修得を目指します。カリキュラムに、現地の人々との交流や企業への訪問などが盛り込まれていることも魅力です。1学期コースにはホームステイが含まれます。(原拓志教授)

社会学部 / 社会学研究科

卒業研究の完成に向けて

社会学部では全専攻で4年次での卒業研究レポート、いわゆる卒論の提出が必須となっています。年明けの締切に向けて着々と作業を進めている4年次生の皆さんも多いことでしょう。卒業研究レポートに限らないことですが、レポートは提出前に見直すことがとても大切です。できれば、同級生など他の人に早めに目を通してもらい、コメントをもらった上で推敲すると良いでしょう。12月の残された時間を有効に使って、完成度の高い卒業研究を目指しましょう。(教学主任 杉本舞准教授)

会計専門職大学院

数字と英語を使える仕事

戦後わが国公認会計士法の範となった米国には、日本の20倍の70万人近い公認会計士が民間企業や大学・自治体等で会計や財務を含む業務に携わっています。数字のない世界はなく数字をもとに様々な活動が行われる以上、数字ある所に会計士あります。わが国でも米国同様、最近では様々な業界に会計士が見られるようになってきました。2011年以降、米国の公認会計士試験はCBT方式で大阪と東京でいつでも受験できます。英語の得意な学生にとっては、職業の選択肢が広がったと言えます。(副研究科長 松本祥尚教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

現地訪問は素晴らしい

政策創造学部では、新型コロナの影響で中止していた海外研修を2023年8月に再開しました。実施大学は、タイのプラーパー大学です。参加学生全てが初のタイ訪問であり、中には、海外渡航が初めての者もいました。引率者としては対応できるか不安でしたが、時間が経つにつれ積極的に授業に参加し、タイ人学生と交流する姿を見るにつけ、自分の心配が杞憂であることを痛感しました。帰国際の空港では、別れを惜しんで泣き出す両国の学生を見て、研修の成功と現地訪問の素晴らしさを確信した次第です。(副学部長 西澤克久男教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

外国語を学ぶ楽しみ

日本では食事をする前に感謝を込めて「いただきます」と言いますが、フランスでは一緒に食事をする相手を気遣って「Bon appétit」と言います。また日本語では死んだり生きたりするのは生物に限られています。英語では「My phone died」と言って、携帯も電池切れをすると死んでしまいます。どの言語も右や左を表す言葉はあるだろうと思いきや、オーストラリアの先住民の言語では東西南北を使って位置を表します。そんな発想の転換をさせてくれるのが、外国語を学ぶ楽しみです。(菊地敦子教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

地域と共に作る研究・教育

昨今の大学の研究・教育は、地域抜きには考えにくくなっています。人間健康学部は、開設時の経緯もあり、これが極めて盛んです。2022年度に展開した地域連携事業企画数は60、2023年度は9月末まで50です。学生も積極的に参加し、成果を上げています。(山縣文治教授)



総合情報学部 / 総合情報学研究科

卒研概要の提出方法について

総合情報学部では「卒業研究」を必修科目とし、卒研概要を提出しなければ単位を取得できず、卒業ができません。この卒研概要ですが、本年度から提出方法が変わります。これまではC棟教室PCから卒研概要のPDFファイルを提出した上で、卒研概要提出票に概要本文を添えて事務室に提出していましたが、事務室への提出は卒研概要提出票のみとなります(PDFファイルの提出は変更なし)。間違えないようお願いします。提出期間は2024年1月9日(火)から15日(月)の17時までです。(学部長 名取良太教授)

社会安全学部 / 社会安全研究科

AL教室稼働中!

高槻ミューズキャンパスに、新たにアクティブラーニング教室(AL教室)が2部屋(M501、M602)、開設されました。ワイヤレス画面転送装置、デジタルホワイトボード、大型ディスプレイなど、最先端のICT機器も多数設置され、講義や演習・ゼミなどで活用中です。(河野和宏准教授)



関西大学第一中学校

中3海外英語研修 in ケアンズ

7月28日~8月9日に中学3年生40名でケアンズへ海外英語研修に行きました。現地の小学校や語学学校、ホームステイでは素敵な出逢いに恵まれ、ファームステイや自然公園、グレートバリアリーフツアーではオーストラリアの大自然を肌で感じ、学びと感動の多い13日間となりました。(第3学年 西村真由美教諭)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

「研究する」って何?

大学を選ぶにあたり、理系の場合、その大学で「どんな研究ができるか」は進路に大きく関わる一大事項です。化学生命工学部だと、医薬品や医療用素材を開発したい、といったキラリとした目標は、研究に対する大きなモチベーションとなり、ぜひ一つは持ってほしいものです。ところで、改めて「研究」とは一体何でしょうか? 「研究」の意味を調べると、「よく調べて真理をきわめること(広辞苑)」、「ある特定の物事について、人間の知識を集めて考察し、実験、観察、調査などを通して調べて、その物事の事実あるいは真

理を追求する一連の過程のこと(ウィキペディア)」とあります。そして、その先にある新しい事実の発見や創造が、研究の目的であると私は考えています。では、「研究する」とは具体的に何をやるのでしょうか? 分野により研究の仕方は様々ですが、実験系の場合、作業仮説を立て、その検証のため、試験管やフラスコを振って実験をします。答えのない問いへの挑戦なので、失敗はつきものですが、失敗から学び、仲間との議論や試行錯誤を重ねた結果、ついに謎が解けたり、できないがで

きるに変わる瞬間を迎えます。この達成感こそが研究の醍醐味ではないでしょうか。あとは、研究成果を学会や論文で発表・発信することも研究において不可欠な作業ですね。教科書に答えのある問いに挑む受験勉強とは違い、研究はその教科書に新たな一行を加えるプロセスであると言えます。学生のみならず、このようなプロセスは未知の経験かと思いますが、恐れず、好奇心を持って立ち向かい、とことん楽しんでほしいです。(化学生命工学部 山崎恵乃准教授)

国際部

国際部学生スタッフ(DIASS)のご紹介

国際部学生スタッフ(通称DIASS)は「Division of International Affairs Student Staff」の略で、国際部での窓口業務や海外からの来客に対するキャンパス案内、国際交流イベント・アクティビティの運営補助など、国際部内の補助業務をしています。様々な業務を通じ、国際理解と社会に出るためのスキルアップを目指すことができます。(部長 藤田高夫教授)



Attention 大学からの重要なお知らせ

試験対策をしっかりと、1年間を有意義に締めくくりましょう。

① 定期試験(筆記試験) / 「到達度の確認(筆記による学力確認)」の注意事項・受験心得

① 学生証は必需品!
学生証がない場合は、試験を受験できません。

- 紛失した場合: 再発行の手続きを。教務センター、または各キャンパス事務室へ。
- 試験当日に忘れた場合: 「受験許可証」の発行を。教務センター・各学舎授業支援ステーション、または各キャンパス事務室へ。

② 遅刻は厳禁!
交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるよう、早めの通学を心掛けてください。

③ 「試験システム」をチェック!
インフォメーションシステム / 教務情報 / 履修試験成績関係から確認することができます。

- 学籍番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です。(ただし、消せるボールペンは使用不可。なお、マークシートは鉛筆で記入)
- 携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は時計として使用できません。

④ 不正行為には厳正に対処!
不正行為をした場合は、すでに受験した科目も全て無効になります。

⑤ 病気など正当な理由で受験できない場合は…
医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認」に相当する学力確認を受けることができます。教務センター、または各キャンパス事務室で手続きしてください。

⑥ 成績発表の日時・確認方法
インフォメーションシステムで発表します。詳細は「試験システム」で確認してください。

関大トピックス



大阪・関西万博に向けた学生コミュニティが発足

万博をきっかけに「未来社会のデザイン」を考え始めた関大生たちが、いままさに「考動」を実践しようとしています。

「私たちがやらなきゃ誰がやる!」「万博のワクワク感を伝えたい!」。そんな思いを持つ関大生たちが集い、2023年5月に関大万博プロジェクト公認の学生コミュニティ「関大万博部」が発足しました。

十人十色の「挑戦」をプロジェクトとして立ち上げ、未来を動かす学生クリエイターたちが日々のSDGsに関する学びをベースに、一人一人が「輝く」ことができるユニークな企画実行に取り組んでいます。

(現在進行しているプロジェクト)

- ① 非常食を活用した万博オリジナル弁当の開発
- ② 絵文字を活用した世界共通のコミュニケーションツールの開発
- ③ 関大オリジナルクラフトコーラの製作
- ④ 多様性を体験できる国際交流イベントの企画 など

関大万博部公式Instagramも立ち上げていますので、ぜひフォローしてください! また、共に活動していただけるメンバーも随時募集しています! 気になる方は関大万博プロジェクト事務局までお問い合わせください! さあ、一緒に万博デビューしよう!



関大万博部公式 Instagram
(@kandaibanpakubu)
<https://instagram.com/kandaibanpakubu>



関大万博プロジェクト事務局
Mail: expo@ml.kandai.jp



新たな学びのフィールド「吹田みらいキャンパス」開設式典を挙

10月11日、新キャンパス「吹田みらいキャンパス」の開設式典を挙行了しました。千里山キャンパスの北東2.2kmに位置し、「吹田みらいキャンパス」という名称には、新たなキャンパスに国内外から多様な人々が集い、それぞれの「みらい」を描いてほしいという願いが込められています。

キャンパス内の施設は2025年4月に開設予定のビジネスデータサイエンス学部(仮称・設置構想中)の学舎をはじめ、国際学生寮「関西大学グローバルハウス(KU G-House)」、グラウンドなどを設置予定。本学では14番目の学部となるビジネスデータサイエンス学部(仮称・設置構想中)の特徴は、ビジネスとデータサイエンスを体系的に学び、生きたデータを用いて生きたスキルを身に付け、「考動力」を高める教育にあります。新時代において混沌を突破し、闊歩できる人材を育成します。



ビジネスプラン・コンペティション「KUBIC2023」の本選会を開催!

10月7日、第18回「関西大学ビジネスプラン・コンペティションKUBIC2023」の本選会を千里山キャンパスBIGホール100で開催しました。

この大会は商学部創設100周年記念事業の一環として開始された事業です。今年のスローガンは「いつかあったらいいなをカタチにしよう!!」。頭の中で思い描くビジネスアイデアを実際のカタチにして、自由にありのままに表現してほしいという思いが込められています。

全国から354件の応募があり、第1次、第2次審査(書類選考)を経て選出された高校4校と、4大学が本選会に進みました。その結果、高校・高等専門学校部の部で村佐心優さん(兵庫県小野高校)が優勝、丸山来実さん(京都府京都市すばる高校)が準優勝となりました。大学の部では慶應義塾大学のYou-GEN(後藤ひなたさん代表)が優勝、本学の4A(八代彩也桂さん代表)が準優勝となりました。



準優勝した関西大学商学部チーム「4A」

関大人

よもやまばなし

四方山話 ◆ 戻ること、変わること

かどわき たくや 出版部出版課 門脇 卓也



2023年もさまざまな出来事がありました。中でもコロナ禍からの行動制限緩和は大きな転機となりました。

サッカー経験者の私は、スタジアムでサッカーの試合を観戦する機会がよくありますが、今年からJリーグなどの試合でも声出し応援が再開されました。黒川圭介選手(ガンバ大阪)や前川篤也選手(ヴィッセル神戸)など、多くの本学出身Jリーガーもサポーターからの声援を受けて活躍しました。コロナ禍の手拍子を主とした応援とは一味も二味も違う力となって、

選手たちを大きく後押ししたと思います。

本学でも本格的に対面授業が再開され、キャンパスに活気とにぎわいが戻りました。学生の皆さんにとっては、ようやく本来の学生生活を送ることができたのではないのでしょうか。

コロナ禍を経て、上記のように戻ることあれば、時・場所・社会情勢などの条件によって変わることもあることを、あらためて実感した1年でした。2024年は、より良い年となるよう、さらなる活気とにぎわいを期待します。

編集後記

今回は「2023年にチャレンジしたこと」を特集しました。生成AIの登場により、学び方にも変化が現れているところですが、実践すること、経験することが貴重な学びの機会であることには変わりがないと思います。大学では各種のアイデアコンテストや大阪・関西万博に向けた学生参加の場を創出し、学んだことを社会で実践する力を育む機会を多くの皆さんに経験していただきたいと考えています。これらが皆さんのチャレンジにつながり、活躍の様子をこの誌面で見られることを楽しみにしています。(広報委員・学長課 小林幸子)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2023年12月1日
発行:関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話:06-6368-1121(大代表)

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。

今月の表紙

今月の表紙は、1年間の各キャンパスの風景をまとめました。入学式をスタートに桜、夏を彩るアジサイの花、学園祭、紅葉、クリスマスツリー、雪化粧、そして卒業式まで四季折々の雰囲気を感じ出している写真を選びました。新しい吹田みらいキャンパスも仲間入りです。